

## STEP 3 保健事業の実施計画

### 事業全体の目的

「早期発見」「早期改善」「早期予防」を軸として、加入者の健康づくりをサポートする。また、加入者自身が「自ら健康になる行動」を選択してもらえるように、加入者全体に対して正しい健康情報を発信し、健康リテラシーの向上を目的とする。

### 事業全体の目標

【特定健診】初年度は加算基準値70%以上 2029年には減算基準81%以上  
【特定保健指導】初年度は加算基準値11.4%以上 2029年には減算基準30%以上  
【後発医薬品】利用率を2029年には目標値を80%以上  
【生活習慣】問診表での結果を前年度結果より改善する

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

予算措置なし	事業主とのコラボヘルス
--------	-------------

#### 加入者への意識づけ

#### 個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査
特定健康診査事業	特定健診未受診者に対する受診勧奨
特定保健指導事業	特定保健指導
特定保健指導事業	特定保健指導未受診者に対する受診勧奨
保健指導宣伝	後発医薬品利用促進事業
保健指導宣伝	広報事業
保健指導宣伝	健診予約、健診結果可視化システム
保健指導宣伝	メンタルヘルス及び医療に関する相談窓口設置
疾病予防	がん検診
疾病予防	婦人科健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種
疾病予防	禁煙対策事業
疾病予防	重症化予防対策
体育奨励	運動機会の提供～ウォーキングプログラム
体育奨励	カフェテリアサービス

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
予算措置なし	1	新規	事業主とのコラボヘルス	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	イ,キ,ク,ケ,ス	①健診と医療費分析の結果から抽出された課題を、事業主と共有。 ②健康経営とデータヘルス計画の連携性を確認する。 ③課題を解決する事業を決め、役割分担する。事業主と共同で課題解決事業を実施する。	ア,イ,ウ	コラボヘルスを推進する会議を定期的開催し、課題の共有、役割分担、進捗を確認する。	・会議体の発足 ・スコアリングレポートや分析結果を共有する ・保健事業の役割分担と推進 ・定期的に事業の進捗を確認する。	・会議体の運用 ・スコアリングレポートや分析結果を共有する ・保健事業の役割分担と推進 ・定期的に事業の進捗を確認する。	・会議体の運用 ・スコアリングレポートや分析結果を共有する ・保健事業の役割分担と推進 ・定期的に事業の進捗を確認する。	・会議体の運用 ・スコアリングレポートや分析結果を共有する ・保健事業の役割分担と推進 ・定期的に事業の進捗を確認する。	・会議体の運用 ・スコアリングレポートや分析結果を共有する ・保健事業の役割分担と推進 ・定期的に事業の進捗を確認する。	・会議体の運用 ・スコアリングレポートや分析結果を共有する ・保健事業の役割分担と推進 ・定期的に事業の進捗を確認する。	事業主と健康課題を共有、役割分担を行う事で、健康経営とデータヘルス計画の効果的&効率的推進を行う。	【特定保健指導実施率の向上】 まずは、加算対象の11.4%以上に目標値を置く。
コラボヘルス会議(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：2回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)コラボヘルス会議の実施回数(実績値がないため、想定値で記入)												直接的に相関する適切なアウトカム指標がないため設定しない。(アウトカムは設定されていません)								

加入者への意識づけ

個別の事業

特定健康診査事業	3	新規	特定健康診査	全て	男女	40～(上限なし)	加入者全員	1	イ,ウ,エ,キ,ク,ケ	外部事業社の協力の元、各医療機関と契約を結び、各事業所近くで健診を受診可能な環境を整えている。	ア,イ,ウ	外部事業社の協力の元、各医療機関と契約を結び、各事業所近くで健診を受診可能な環境を整えている。	①メールや健診の案内物の郵送等で健診案内を行い、健診参加勧奨を実施する。 ②WEBでの健診予約システムを提供し24時間健診申し込みができるようにする。 ③未受診者に対して様々な媒体での受診勧奨を行い、効果検証を行う	①メールや健診の案内物の郵送等で健診案内を行い、健診参加勧奨を実施する。 ②WEBでの健診予約システムを提供し24時間健診申し込みができるようにする。 ③未受診者に対して様々な媒体での受診勧奨を行い、効果検証を行う	①メールや健診の案内物の郵送等で健診案内を行い、健診参加勧奨を実施する。 ②WEBでの健診予約システムを提供し24時間健診申し込みができるようにする。 ③未受診者に対して様々な媒体での受診勧奨を行い、効果検証を行う	①メールや健診の案内物の郵送等で健診案内を行い、健診参加勧奨を実施する。 ②WEBでの健診予約システムを提供し24時間健診申し込みができるようにする。 ③未受診者に対して様々な媒体での受診勧奨を行い、効果検証を行う	①メールや健診の案内物の郵送等で健診案内を行い、健診参加勧奨を実施する。 ②WEBでの健診予約システムを提供し24時間健診申し込みができるようにする。 ③未受診者に対して様々な媒体での受診勧奨を行い、効果検証を行う	①メールや健診の案内物の郵送等で健診案内を行い、健診参加勧奨を実施する。 ②WEBでの健診予約システムを提供し24時間健診申し込みができるようにする。 ③未受診者に対して様々な媒体での受診勧奨を行い、効果検証を行う	2023年度実績予定は被保険者受診100%、被扶養者31%、加入者全体で79%(健診予約システム上)。健診参加勧奨を併せて実施、特定健診実施率を年々向上させて、厚労省指標の90%に近づける。	【特定健診受診率の向上】 まずは、加算対象の70%以上に目標値を置く。
特定健診実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：79% 令和7年度：81% 令和8年度：83% 令和9年度：85% 令和10年度：87% 令和11年度：89%) (実績値がないため、想定値で記入)												再検査以上リスク保有者率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：45% 令和7年度：44% 令和8年度：43% 令和9年度：42% 令和10年度：41% 令和11年度：40%) (実績値がないため、想定値で記入)								

特定健康診査未受診者に対する受診勧奨	3	新規	特定健康診査未受診者に対する受診勧奨	全て	男女	40～(上限なし)	加入者全員	1	イ,エ,ク,ケ	各通知媒体を用いて、健診未受診者へ健康診断の重要性の案内・健診受診を勧める案内をする。	ア,イ,ウ	各通知媒体を用いて、健診未受診者へ健康診断の重要性の案内・健診受診を勧める案内をする。	①特定健康診査未受診者のうち、受診勧奨対象者を選定 ②健診受診勧奨通知を作成し、対象者へ発送 ③対象者が特定健康診査を受診したかどうか、確認する	①特定健康診査未受診者のうち、受診勧奨対象者を選定 ②健診受診勧奨通知を作成し、対象者へ発送 ③対象者が特定健康診査を受診したかどうか、確認する	①特定健康診査未受診者のうち、受診勧奨対象者を選定 ②健診受診勧奨通知を作成し、対象者へ発送 ③対象者が特定健康診査を受診したかどうか、確認する	①特定健康診査未受診者のうち、受診勧奨対象者を選定 ②健診受診勧奨通知を作成し、対象者へ発送 ③対象者が特定健康診査を受診したかどうか、確認する	①特定健康診査未受診者のうち、受診勧奨対象者を選定 ②健診受診勧奨通知を作成し、対象者へ発送 ③対象者が特定健康診査を受診したかどうか、確認する	①特定健康診査未受診者のうち、受診勧奨対象者を選定 ②健診受診勧奨通知を作成し、対象者へ発送 ③対象者が特定健康診査を受診したかどうか、確認する	健康状況の把握と疾病の予防・早期発見のために、特定保健指導対象者をもらさず抽出するために、受診勧奨を行い受診率を高める。	【特定健診受診率の向上】 まずは、加算対象の70%以上に目標値を置く。
特定健診受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：79.0% 令和7年度：81.0% 令和8年度：83.0% 令和9年度：85.0% 令和10年度：87.0% 令和11年度：89.0%) (実績値がないため、想定値で記入)												再検査以上のリスク保有者率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：45.0% 令和7年度：44.0% 令和8年度：43.0% 令和9年度：42.0% 令和10年度：41.0% 令和11年度：40.0%) (実績値がないため、想定値で記入)								

特定保健指導事業	4	新規	特定保健指導	全て	男女	40～(上限なし)	加入者全員	1	エ,オ,キ,ク,ケ	階層化を実施し、対象者に対して特定保健指導を実施。	ア,イ,ウ,カ	外部事業会社と連携して実施	以下を目的として特定保健指導を推進する。 ①受診率の向上 ②改善率(流出率)の向上 ③新規参加者の低減 ④対象者率の減少	以下を目的として特定保健指導を推進する。 ①受診率の向上 ②改善率(流出率)の向上 ③新規参加者の低減 ④対象者率の減少	以下を目的として特定保健指導を推進する。 ①受診率の向上 ②改善率(流出率)の向上 ③新規参加者の低減 ④対象者率の減少	以下を目的として特定保健指導を推進する。 ①受診率の向上 ②改善率(流出率)の向上 ③新規参加者の低減 ④対象者率の減少	以下を目的として特定保健指導を推進する。 ①受診率の向上 ②改善率(流出率)の向上 ③新規参加者の低減 ④対象者率の減少	以下を目的として特定保健指導を推進する。 ①受診率の向上 ②改善率(流出率)の向上 ③新規参加者の低減 ④対象者率の減少	令和11年度55.0%の実施率を目指す	【特定保健指導実施率の向上】 まずは、加算対象の11.4%以上に目標値を置く。
特定保健指導実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：30% 令和7年度：35% 令和8年度：40% 令和9年度：45% 令和10年度：50% 令和11年度：55%) (実績値がないため、想定値で記入)												特定保健指導対象者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：14.5% 令和7年度：14.0% 令和8年度：13.5% 令和9年度：13.0% 令和10年度：12.5% 令和11年度：12.0%) (実績値がないため、想定値で記入)								

特定保健指導未受診者に対する受診勧奨	4	新規	特定保健指導未受診者に対する受診勧奨	全て	男女	40～(上限なし)	加入者全員	1	イ,エ,オ,キ,ク,ケ	各通知媒体を用いて、特定保健指導対象者へ特定保健指導の受診を勧める案内をする。また、外部事業者からはスケジュール設定の案内と確定を対象者に繰り返し行う。	ア,イ,ウ	外部事業会社と連携して実施	①健診結果を階層化し退所者を抽出 ②対象者に受診をアプローチ ③外部事業者によりでスケジュール設定の案内と確定を対象者に繰り返し行う。 ④未受診者にアプローチを繰り返す。	①健診結果を階層化し退所者を抽出 ②対象者に受診をアプローチ ③外部事業者によりでスケジュール設定の案内と確定を対象者に繰り返し行う。 ④未受診者にアプローチを繰り返す。	①健診結果を階層化し退所者を抽出 ②対象者に受診をアプローチ ③外部事業者によりでスケジュール設定の案内と確定を対象者に繰り返し行う。 ④未受診者にアプローチを繰り返す。	①健診結果を階層化し退所者を抽出 ②対象者に受診をアプローチ ③外部事業者によりでスケジュール設定の案内と確定を対象者に繰り返し行う。 ④未受診者にアプローチを繰り返す。	①健診結果を階層化し退所者を抽出 ②対象者に受診をアプローチ ③外部事業者によりでスケジュール設定の案内と確定を対象者に繰り返し行う。 ④未受診者にアプローチを繰り返す。	①健診結果を階層化し退所者を抽出 ②対象者に受診をアプローチ ③外部事業者によりでスケジュール設定の案内と確定を対象者に繰り返し行う。 ④未受診者にアプローチを繰り返す。	健康リスクの悪化を防ぐために、特定保健指導対象者に繰り返しアプローチをして、リスクの改善と医療費の適正化を推進する。	【特定保健指導実施率の向上】 まずは、加算対象の11.4%以上に目標値を置く。
特定保健指導実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：30% 令和7年度：35% 令和8年度：40% 令和9年度：45% 令和10年度：50% 令和11年度：55%) (実績値がないため、想定値で記入)												特定保健指導対象者率の減少(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：14.5% 令和7年度：14.0% 令和8年度：13.5% 令和9年度：13.0% 令和10年度：12.5% 令和11年度：12.0%) (実績値がないため、想定値で記入)								

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
保健指導宣伝	7	新規	後発医薬品利用促進事業	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	エ,キ,ケ	ホームページによる周知を実行。ホームページを通じて医療費の差額通知を行う。	ア,シ	外部事業会社と連携して実施	①ホームページによる周知の徹底 ②医療費差額通知 ③差額総額の推移確認と利用率の把握	①ホームページによる周知の徹底 ②医療費差額通知 ③差額総額の推移確認と利用率の把握	①ホームページによる周知の徹底 ②医療費差額通知 ③差額総額の推移確認と利用率の把握	①ホームページによる周知の徹底 ②医療費差額通知 ③差額総額の推移確認と利用率の把握	①ホームページによる周知の徹底 ②医療費差額通知 ③差額総額の推移確認と利用率の把握	①ホームページによる周知の徹底 ②医療費差額通知 ③差額総額の推移確認と利用率の把握	後発医薬品の利用促進により医療費の低減を行う。	【後発医薬品の利用促進】 厚労省目標の80%以上を目標に置く。
	利用率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：70% 令和7年度：72% 令和8年度：74% 令和9年度：76% 令和10年度：78% 令和11年度：80%) (実績値がないため、想定値で記入)												後発医薬品利用とアウトカムとの相関関係が弱いいため、ここではアウトカムは設定しない。(アウトカムは設定されていません)							
	2,5	新規	広報事業	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	エ,ケ	ホームページや健保だよりなどの媒体を利用し、加入者へ情報発信を行う。	ア,シ	外部事業会社と連携して実施	【目的】健保組合運営の周知 【概要】健保組合のしくみ、健保からのお知らせ公示、各種申請書、健診予約システム、健診結果管理システム、カフェテリアメニュー、最新情報等を提供	【目的】健保組合運営の周知 【概要】健保組合のしくみ、健保からのお知らせ公示、各種申請書、健診予約システム、健診結果管理システム、カフェテリアメニュー、最新情報等を提供	【目的】健保組合運営の周知 【概要】健保組合のしくみ、健保からのお知らせ公示、各種申請書、健診予約システム、健診結果管理システム、カフェテリアメニュー、最新情報等を提供	【目的】健保組合運営の周知 【概要】健保組合のしくみ、健保からのお知らせ公示、各種申請書、健診予約システム、健診結果管理システム、カフェテリアメニュー、最新情報等を提供	【目的】健保組合運営の周知 【概要】健保組合のしくみ、健保からのお知らせ公示、各種申請書、健診予約システム、健診結果管理システム、カフェテリアメニュー、最新情報等を提供	【目的】健保組合運営の周知 【概要】健保組合のしくみ、健保からのお知らせ公示、各種申請書、健診予約システム、健診結果管理システム、カフェテリアメニュー、最新情報等を提供	ホームページを中心メディアとして、健康情報の提供(健診結果の見える化)などを進め。健康リテラシーの向上に寄与する。	【生活習慣の習得】 正しい生活習慣を身につけ、早期予防、早期改善に結びつける。
ログイン率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：75% 令和7年度：75% 令和8年度：75% 令和9年度：75% 令和10年度：75% 令和11年度：75%)対象者の内、ログインした人の割合 (実績値がないため、想定値で記入)												広報とアウトカムとの相関関係が弱いいため、ここではアウトカムは設定しない。(アウトカムは設定されていません)								
2,3,4,5	新規	健診予約、健診結果可視化システム	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者	1	エ,ケ	健診予約システムと併用して、24時間利用可能な健診結果確認システムを提供する。	ア,イ,ウ,シ	外部事業会社に運営を委託。	①WEB上で健診を予約する。 ②健診結果を表示 ③改善行動を健診受診者へ選択させ、経年後の健康予測を表示 ④自身の健康状態の把握と改善行動の一例を知る入口とする	①WEB上で健診を予約する。 ②健診結果を表示 ③改善行動を健診受診者へ選択させ、経年後の健康予測を表示 ④自身の健康状態の把握と改善行動の一例を知る入口とする	①WEB上で健診を予約する。 ②健診結果を表示 ③改善行動を健診受診者へ選択させ、経年後の健康予測を表示 ④自身の健康状態の把握と改善行動の一例を知る入口とする	①WEB上で健診を予約する。 ②健診結果を表示 ③改善行動を健診受診者へ選択させ、経年後の健康予測を表示 ④自身の健康状態の把握と改善行動の一例を知る入口とする	①WEB上で健診を予約する。 ②健診結果を表示 ③改善行動を健診受診者へ選択させ、経年後の健康予測を表示 ④自身の健康状態の把握と改善行動の一例を知る入口とする	①WEB上で健診を予約する。 ②健診結果を表示 ③改善行動を健診受診者へ選択させ、経年後の健康予測を表示 ④自身の健康状態の把握と改善行動の一例を知る入口とする	①健診を簡単に予約できるため、受診率の向上が見込める。 ②健診受診者が自身の健診結果に興味を持ち、改善行動をとる機会提供をする。	【特定健診受診率の向上】 まずは、加算対象の70%以上に目標値を置く。	
ログイン率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：75% 令和7年度：75% 令和8年度：75% 令和9年度：75% 令和10年度：75% 令和11年度：75%)対象者の内、ログインした人の割合 (実績値がないため、想定値で記入)												健診予約、健診結果可視化システムとアウトカムとの相関関係が直接的ではないため、ここではアウトカムは設定しない。(アウトカムは設定されていません)								
6	新規	メンタルヘルス及び医療に関する相談窓口設置	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	エ,オ,ケ	Web相談、メンタル面談の窓口を設置。提携会社に運営を委託	ア,イ	外部事業会社に運営を委託	・広報(機関誌、ホームページ)での利用促進 ・利用状況の分析 ・メンタル関連疾患医療費の分析	・広報(機関誌、ホームページ)での利用促進 ・利用状況の分析 ・メンタル関連疾患医療費の分析	・広報(機関誌、ホームページ)での利用促進 ・利用状況の分析 ・メンタル関連疾患医療費の分析	・広報(機関誌、ホームページ)での利用促進 ・利用状況の分析 ・メンタル関連疾患医療費の分析	・広報(機関誌、ホームページ)での利用促進 ・利用状況の分析 ・メンタル関連疾患医療費の分析	・広報(機関誌、ホームページ)での利用促進 ・利用状況の分析 ・メンタル関連疾患医療費の分析	・広報(機関誌、ホームページ)での利用促進 ・利用状況の分析 ・メンタル関連疾患医療費の分析	緊急での相談窓口を設置することで、早期処理を行うことで、深刻化する疾病の削減を目的とする。 利用者の増加 メンタル関連疾患医療費の減少	【健康リスクの減少】 再検査以上の判定者を減少し、リスクゼロの判定者を増やしていく。
利用者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：20人 令和7年度：20人 令和8年度：20人 令和9年度：20人 令和10年度：20人 令和11年度：20人) (実績値がないため、想定値で記入)												直接的に相関する適切なアウトカム指標がないため設定しない。(アウトカムは設定されていません)								
疾病予防	3	新規	がん検診	全て	男女	35～(上限なし)	加入者全員	1	イ,ウ,エ,オ,キ,ク,ケ	肺がん、大腸がんが含まれている健診コースを提供し、がん検診を受診できる環境を構築。	ア,イ,ウ	外部事業会社と連携して実施	基本健診コース内の検査項目に「肺がん」「大腸がん」を含め、受診できる仕組みを構築、実施。	基本健診コース内の検査項目に「肺がん」「大腸がん」を含め、受診できる仕組みを構築、実施。	基本健診コース内の検査項目に「肺がん」「大腸がん」を含め、受診できる仕組みを構築、実施。	基本健診コース内の検査項目に「肺がん」「大腸がん」を含め、受診できる仕組みを構築、実施。	基本健診コース内の検査項目に「肺がん」「大腸がん」を含め、受診できる仕組みを構築、実施。	基本健診コース内の検査項目に「肺がん」「大腸がん」を含め、受診できる仕組みを構築、実施。	生命や仕事との両立が危ぶまれる「がん」に対して、早期化権、早期治療が可能になるように各種のがん検診を実施する。	【医療費の適正化】 一人当たり医療費を適正化していく。
	受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：70% 令和7年度：70% 令和8年度：70% 令和9年度：70% 令和10年度：70% 令和11年度：70%) (実績値がないため、想定値で記入)												がんの医療費の減少(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：98% 令和7年度：98% 令和8年度：98% 令和9年度：98% 令和10年度：98% 令和11年度：98%)前年との医療費比較を行う。前年比を下記に記載する。							
	3	新規	婦人科健診	全て	女性	20～(上限なし)	加入者全員	1	イ,ウ,エ,キ,ク,ケ	健診の基本コースと同時に婦人科健診を受診できる。補助は加入者種別により変動あり。(全額補助、一部補助、全額自己負担)	ア,イ,ウ	外部事業会社と連携して実施	健診予約システムを利用し、健診の基本コースを申し込む際に、婦人科健診を追加して申し込むことが可能とする。	健診予約システムを利用し、健診の基本コースを申し込む際に、婦人科健診を追加して申し込むことが可能とする。	健診予約システムを利用し、健診の基本コースを申し込む際に、婦人科健診を追加して申し込むことが可能とする。	健診予約システムを利用し、健診の基本コースを申し込む際に、婦人科健診を追加して申し込むことが可能とする。	健診予約システムを利用し、健診の基本コースを申し込む際に、婦人科健診を追加して申し込むことが可能とする。	健診予約システムを利用し、健診の基本コースを申し込む際に、婦人科健診を追加して申し込むことが可能とする。	生命や仕事との両立が危ぶまれる「女性特有のがん」に対して、早期化権、早期治療が可能になるように乳がん、子宮がんの検診を実施する。	【健康リスクの減少】 再検査以上の判定者を減少し、リスクゼロの判定者を増やしていく。
婦人科検診受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：70% 令和7年度：70% 令和8年度：70% 令和9年度：70% 令和10年度：70% 令和11年度：70%) (実績値がないため、想定値で記入)												女性特有のがん医療費の減少(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：98% 令和7年度：98% 令和8年度：98% 令和9年度：98% 令和10年度：98% 令和11年度：98%)前年との医療費比較を行う。前年比を下記に記載する。								

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
8	新規	インフルエンザ予防接種	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	キ,ケ	インフルエンザ予防接種費用として一部補助の実施。 加入者自らインフルエンザ予防接種を接種し、後から健保へ申請し支払いを行う。	ア,ウ	外部事業会社と連携して実施	・ホームページなどによるツールを利用し利用促進を図る ・インフルエンザ接種率を向上する。	・ホームページなどによるツールを利用し利用促進を図る ・インフルエンザ接種率を向上する。	・ホームページなどによるツールを利用し利用促進を図る ・インフルエンザ接種率を向上する。	・ホームページなどによるツールを利用し利用促進を図る ・インフルエンザ接種率を向上する。	・ホームページなどによるツールを利用し利用促進を図る ・インフルエンザ接種率を向上する。	・ホームページなどによるツールを利用し利用促進を図る ・インフルエンザ接種率を向上する。	インフルエンザの予防による本人と周囲の健康維持を促進する。	【健康リスクの減少】 再検査以上の判定者を減少し、リスクゼロの判定者を増やしていく。	
インフルエンザ予防接種率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：40% 令和7年度：40% 令和8年度：40% 令和9年度：40% 令和10年度：40% 令和11年度：40%) (実績値がないため、想定値で記入)												インフルエンザ予防接種とアウトカムとの相関関係が弱いいため、ここではアウトカムは設定しない。(アウトカムは設定されていません)								
5	新規	禁煙対策事業	全て	男女	20～(上限なし)	被保険者	1	エ,ク,ケ	禁煙デーの設定。 禁煙プログラムの導入 禁煙セミナーの開催	ア,イ,ウ	外部事業会社と連携して実施	・喫煙率の分析を行い、禁煙事業の立案・実施を行う。 ・禁煙デーの設定。 ・禁煙プログラムの導入 ・禁煙セミナーの開催など ・他健保と共同で実施するコンソーシアムへの参加の検討	・喫煙率の分析を行い、禁煙事業の立案・実施を行う。 ・禁煙デーの設定。 ・禁煙プログラムの導入 ・禁煙セミナーの開催など ・他健保と共同で実施するコンソーシアムへの参加の検討	・喫煙率の分析を行い、禁煙事業の立案・実施を行う。 ・禁煙デーの設定。 ・禁煙プログラムの導入 ・禁煙セミナーの開催など ・他健保と共同で実施するコンソーシアムへの参加の検討	・喫煙率の分析を行い、禁煙事業の立案・実施を行う。 ・禁煙デーの設定。 ・禁煙プログラムの導入 ・禁煙セミナーの開催など ・他健保と共同で実施するコンソーシアムへの参加の検討	・喫煙率の分析を行い、禁煙事業の立案・実施を行う。 ・禁煙デーの設定。 ・禁煙プログラムの導入 ・禁煙セミナーの開催など ・他健保と共同で実施するコンソーシアムへの参加の検討	・喫煙率の分析を行い、禁煙事業の立案・実施を行う。 ・禁煙デーの設定。 ・禁煙プログラムの導入 ・禁煙セミナーの開催など ・他健保と共同で実施するコンソーシアムへの参加の検討	喫煙による健康被害、悪性新生物（肺がん等）、呼吸器疾患等の医療費の削減 副流煙などの二次被害の防止	【生活習慣の習得】 正しい生活習慣を身につけ、早期予防、早期改善に結びつける。  【健康リスクの減少】 再検査以上の判定者を減少し、リスクゼロの判定者を増やしていく。	
禁煙プログラム参加率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：10% 令和7年度：10% 令和8年度：10% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)プログラム対象者と参加者の人数比率 (実績値がないため、想定値で記入)												喫煙率(男性) (【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：36.0% 令和7年度：34.0% 令和8年度：32.0% 令和9年度：30.0% 令和10年度：28.0% 令和11年度：26.0%) (実績値がないため、想定値で記入)								
-												喫煙率(女性) (【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：12.8% 令和7年度：11.7% 令和8年度：10.5% 令和9年度：9.5% 令和10年度：8.4% 令和11年度：7.3%) (実績値がないため、想定値で記入)								
4	新規	重症化予防対策	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	イ,ウ,エ,ク,ケ	健診結果やレセプト情報を用いて、脂質・血圧・血糖のハイリスク者を抽出し、医療機関への受診勧奨を行う 生活習慣病健診の対象年齢となる35歳～39歳までの若年層へ働きかける。	ア,イ,ウ	提携会社と連携して実施	①健診結果・レセプト情報を用いてハイリスク者を抽出する ②優先順位をつけて保健指導や医療機関への受診勧奨を実施	①健診結果・レセプト情報を用いてハイリスク者を抽出する ②優先順位をつけて保健指導や医療機関への受診勧奨を実施	①健診結果・レセプト情報を用いてハイリスク者を抽出する ②優先順位をつけて保健指導や医療機関への受診勧奨を実施	①健診結果・レセプト情報を用いてハイリスク者を抽出する ②優先順位をつけて保健指導や医療機関への受診勧奨を実施	①健診結果・レセプト情報を用いてハイリスク者を抽出する ②優先順位をつけて保健指導や医療機関への受診勧奨を実施	①健診結果・レセプト情報を用いてハイリスク者を抽出する ②優先順位をつけて保健指導や医療機関への受診勧奨を実施	重症化予防に向けて早期の受診勧奨を行う 医療費の適正化を進める。 また、35～39歳の若年層への働きかけをすることで、後年の特定保健指導対象者を増加させない。	【医療費の適正化】 一人当たり医療費を適正化していく。  【健康リスクの減少】 再検査以上の判定者を減少し、リスクゼロの判定者を増やしていく。	
ハイリスク者に対する受診勧奨実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)対象者に対しての受診勧奨実施率												特定保健指導対象者含有率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：14.5% 令和7年度：14.0% 令和8年度：13.5% 令和9年度：13.0% 令和10年度：12.5% 令和11年度：12.0%)-								
5	新規	運動機会の提供～ウォーキングプログラム	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ア,エ,ケ	2024年のウォーキングキャンペーンは参加者向上に向けて、歩数達成によりカフェテリアポイントのインセンティブを実施予定 けんぼれん あいちとの共同事業へ参加し実施。	ア,キ,ク	提携会社と連携して実施 けんぼれん あいちとの共同事業へ参加し実施。	目標歩数を設け、達成した対象者にインセンティブポイントを配布。 参加推奨のための周知を行う。	目標歩数を設け、達成した対象者にインセンティブポイントを配布。 参加推奨のための周知を行う。	目標歩数を設け、達成した対象者にインセンティブポイントを配布。 参加推奨のための周知を行う。	目標歩数を設け、達成した対象者にインセンティブポイントを配布。 参加推奨のための周知を行う。	目標歩数を設け、達成した対象者にインセンティブポイントを配布。 参加推奨のための周知を行う。	目標歩数を設け、達成した対象者にインセンティブポイントを配布。 参加推奨のための周知を行う。	ウォーキングという運動習慣が身に付くことにより、加入者の健康増進に寄与する。 リスクの早期予防につながる。	【生活習慣の習得】 正しい生活習慣を身につけ、早期予防、早期改善に結びつける。	
参加率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：25% 令和7年度：25% 令和8年度：25% 令和9年度：25% 令和10年度：25% 令和11年度：25%) (実績値がないため、想定値で記入)												ウォーキングとアウトカムとの相関関係が弱いいため、ここではアウトカムは設定しない。(アウトカムは設定されていません)								
2,8	新規	カフェテリアサービス	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者	1	ア,エ,ケ	外部会社のサービスと提携し、配布ポイントに応じた、医薬品購入や健康サービスへの参加を可能にする。	ア,ウ	外部事業会社と連携して実施	外部会社のサービスと提携し、配布ポイントに応じた、医薬品購入や健康サービスへの参加を可能にし、加入者の健康意識向上に結び付ける。	外部会社のサービスと提携し、配布ポイントに応じた、医薬品購入や健康サービスへの参加を可能にし、加入者の健康意識向上に結び付ける。	外部会社のサービスと提携し、配布ポイントに応じた、医薬品購入や健康サービスへの参加を可能にし、加入者の健康意識向上に結び付ける。	外部会社のサービスと提携し、配布ポイントに応じた、医薬品購入や健康サービスへの参加を可能にし、加入者の健康意識向上に結び付ける。	外部会社のサービスと提携し、配布ポイントに応じた、医薬品購入や健康サービスへの参加を可能にし、加入者の健康意識向上に結び付ける。	外部会社のサービスと提携し、配布ポイントに応じた、医薬品購入や健康サービスへの参加を可能にし、加入者の健康意識向上に結び付ける。	健康づくりアイテムや医薬品購入、またスポーツへの参加を促進し、利用者の健康意識と健康状態の改善を行う。	【生活習慣の習得】 正しい生活習慣を身につけ、早期予防、早期改善に結びつける。	
ポイント利用率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：85% 令和7年度：85% 令和8年度：85% 令和9年度：85% 令和10年度：85% 令和11年度：85%) (実績値がないため、想定値で記入)												カフェテリアサービスとアウトカムとの相関関係が直接的ではないため、ここではアウトカムは設定しない(アウトカムは設定されていません)								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業  
注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業  
注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施  
ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他  
注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築  
ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他